

情報システム2

担当: 垂水浩幸
情報学研究科社会情報学専攻
助教授(上林研究室)
tarumi@i.kyoto-u.ac.jp

講義の特徴(1)

- ▶ 教科書が英語
- ▶ Ian Sommerville 著
"Software Engineering", 5th edition
(Addison-Wesley)
- ▶ 欧米でよく使われている教科書
(ただし高い)

講義の特徴(2)

▶ PowerPoint を使う

- ◆ 資料はインターネットHPに置く
(PDF形式、アクセスパスワード必要)
- ◆ <http://www.isse.kuis.kyoto-.ac.jp/~tarumi/lecture/IS2-2K/>
- ◆ username: student
- ◆ password: *****
- ◆ 利用例: 印刷して持参→書き込みでノートをとる

講義の特徴(3)

- ▶ 教育支援システム研究の予備実験を兼ねている
- ▶ TA 1名 (百合山まどか、上林研M2)
- ▶ 講義中にPCを用いたチャットを導入する
- ▶ チャットの発言は成績に反映される場合もある
- ▶ ノートPCを容易していただくとありがたい

講義の特徴(3-続き)

- ▶ 毎回アンケートをとる
 - ◆ 出席の代わり
 - ◆ アンケートに書いた内容はTALは見ない
(正直にかくこと)

評価

- ▶ 9月の前期試験は実施しない
- ▶ 数回レポート課題を出す予定である。
(翌週提出)

(仮) 予定

4/17	健康診断のため休講
4/24	オリエンテーション、Chapter 1
5/1	Chapter 1, 3
5/8	Chapter 4
5/15	Chapter 6
5/22	Chapter 8
5/29	Chapter 12
6/5	Chapter 13
6/12	Chapter 14
6/19	創立記念日振替のため休講
6/26	Chapter 15
7/3	Chapter 22
7/10	Chapter 23
7/17	Chapter 24

講義の内容

- ▶ ソフトウェア工学=ソフトウェアの作り方
 - ◆ 責任のあるソフト(お金のもらえるソフト)を作る
 - ◆ 組織で作る
 - ◆ 他人のために作る
 - ◆ 大規模なソフトウェアを作る
 - ◆ 2~3回生で作ったソフトウェアは演習
→ 無責任、自分のため、1人~4人で、小規模
- ▶ 単なる技術ではない。